



写真：夏梅陸夫



シデコブシ
モクレン科
準絶滅危惧種

東海地方に固有の落葉樹で、湧水のある日当たりのよい湿地を好みます。3～4月に、淡紅色を帯びた白色の芳香のある花を咲かせます。

FEATURE

「牛乳パック回収ボックス提供1万カ所を突破！」

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会（略称：全国パック連）と全国牛乳容器環境協議会（略称：容環協）は、2001年より「1万カ所回収拠点拡大事業」を立上げ、全国に牛乳パックの回収ボックスの提供を進めてきました。

回収ボックスは、紙パックリサイクルの目に見えるきっかけづくりの一環として、市町村の分別回収、スーパーマーケットなどの店頭、学校、公共施設、銀行や郵便局など、さまざまな場所に設置されてきました。提供数は着実に伸張し、2007年2月に目標としてきた1万カ所を達成し、これを契機に全国から寄せられた回収ボックスの写真とアンケートをとりまとめた『回収ボックス配布マップ』が発行されました。

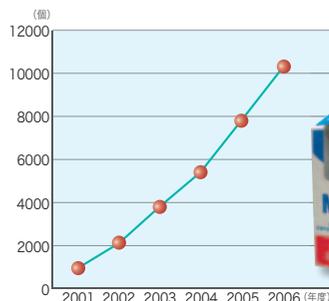
設置された回収ボックスは、全国各地でさまざまな人々の結びつきに役立ち、新しい回収拠点として多くの紙パックが集められています。

今後は、2万カ所を新たな目標として、回収力の低い地域や市町村への積極的な提供運動を進めていきます。

■ 回収ボックス配布マップ



■ 回収ボックス提供状況



Topics

石岡加工株式会社 「印刷産業環境優良工場表彰」受賞

当社の生産会社である石岡加工が、本年度の印刷産業環境優良工場表彰で、栄えある「経済産業省商務情報政策局長賞」を受賞しました。今年度で第6回を迎えるこの表彰制度は、(社)日本印刷産業連合会が実施しているもので、環境対応を明確に企業経営で位置づけていることや環境対策、環境改善が高水準の工場であることなどが表彰の対象とされています。

石岡加工の受賞した「商務情報政策局長賞」は、最優秀賞に次ぐ賞で、同社のこれまでの廃棄物のリサイクル率と、エネルギー単位の改善の度合いが高いこと、5S活動が徹底的に行われていることなどが高く評価されました。受賞選考にあたっては、7月24日に表彰工場選考の審査委員会による詳細な書類審査と現地調査が石岡加工で実施されました。今回の受賞を励みに、当社および生産会社各社は、より一層環境に配慮した取り組みを推進していきたいと考えています。

身近なエコ。おいしくエコ。 ～エヌピーパックに学ぶ～

エヌピーパックは、飲料メーカーで飲料が詰められると、スーパーマーケットやコンビニエンスストア、学校や飲食店に出荷され、消費者の元に届けられます。

牛乳はもちろん、お茶やジュースなど、エヌピーパックにはさまざまな種類の飲料が詰められていますが、**パック側面に識別のための「紙パック」マークがあれば、紙パックとしてリサイクルが可能です。**

紙パックは、太くて長く、丈夫な繊維のパルプを使用しています。そのため紙の両面にコーティングされているポリエチレンを剥がすだけで、良質な繊維が得られ、資源としての再利用にたいへん優れています。

ご家庭などで消費されたエヌピーパックは、そこで使命を終えることなく、リサイクルにより生まれ変わるための新たな歩みを始めます。

それでは、簡単にできる紙パックリサイクルを見ていきましょう。

飲み終わった紙パックはすぐに洗いましょう。洗うと言っても洗剤やお湯で洗う必要はありません。紙パック内部はポリエチレンでコーティングされているため、少量のお水で水洗いするだけでOK。

洗い終わった紙パックは開きましょう。開き方に決まりはありません。手で開いてもよし。ハサミを使用してもよし。平らな状態になればどんな形でもかまいません。



紙パックを開いたら必ず乾かしましょう。紙パックは撥水性がよいため、自然乾燥で手間もかかりません。

「洗って」「開いて」「乾かして」このルールはぜひ守ってくださいね。飲料が残っていたり、乾いていなかったりすると、カビの発生などで再生紙原料として使えなくなるからです。洗って開いて乾かした紙パックは、スーパーマーケットなどの店頭回収や学校、地域の資源回収などに出しましょう。紙パックは生かせば貴重な資源となります。

回収された紙パックは、再生紙メーカーでトイレットペーパーなどの新たな製品に生まれ変わります。

■紙パックリサイクルは、市民の「もったいない」が始まり。

日本は資源の乏しい国にもかかわらず、高質なパルプを使用する紙パックが使い捨てられていました。「なんてもったいない！」1984年、1人の主婦の提案から紙パックの再利用運動が始まりました。やがて、紙パックを再利用し、ものを大切に作る大人の姿を子どもに示そうという取り組みは全国に紹介され、各地の市民グループによって回収が行われ始めました。翌年、再利用運動に取り組んでいた全国の市民グループが「全国牛乳パックの再利用を考える連絡会（略称：全国パック連）」を結成。全国パック連を中心に、紙パックの回収の輪がさらに各地へ広がりました。以降、紙パックの再利用運動は、日本のリサイクル活動のシンボルとなり、世界でも例のない日本独自の回収ルール「洗って・開いて・乾かして」が確立されたのです。



全国パック連発足当時の平井初美代表



識別マーク

「紙パック」マークなら、どれも紙パックとしてリサイクルできるんだ。牛乳だけでなくお茶やジュースの紙パックも注目してね。



手間いらず



あっという間に自然乾燥!

すすぎ終わったら、そそぎ口を広げて逆さまにするだけ。紙パックは、乾かしてから開けば手も汚れずに簡単です。

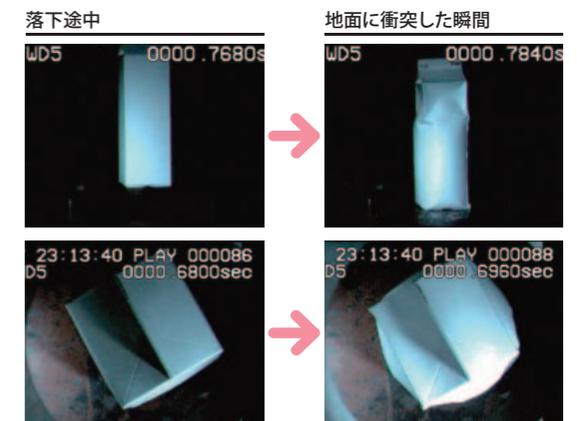
ピュア博士の実験室

紙パックはシッカリもの



ウオッホン!

といったそばから牛乳パックを落としてしまったあ…なんてな。エヌピーパックはこんな時でも安心でな、ピンのように割れないんじやよ。高速度カメラ(125コマ/秒で撮影)でエヌピーパックが地面に衝突した瞬間を見てみることにしよう。飲料の入った1000mlのエヌピーパックを80cmの高さから落下させると…ホレこの通りじゃ!地面に衝突した瞬間に紙容器が変形して、落下の衝撃を吸収しているのがわかるじやろ～四角だった形が真ん丸じやな。つまり丈夫で柔軟な紙が衝突の衝撃を上手に吸収してしまうんじやな。だからといって真似はノンノンじやぞ。



エヌピーパックの一生⑥ 一般家庭・学校・飲食店

NP-PAKの生み出される各工程をお伝えしながら環境保護・再利用の取り組みをご紹介します。今回のテーマは、「消費・回収」です。



「環の縁結びフォーラム 2007」 牛乳パック再利用全国情報交流会



2007年9月28日、大田区産業プラザに於いて市民団体である全国牛乳パックの再利用を考える連絡会の第1回「牛乳パック再利用全国情報交流会（協賛：全国牛乳容器環境協議会）」が開催されました。この交流会は、昨年20回をもって終了した「牛乳パックの再利用を考える全国大会」を引き継ぎ、情報交流を主体とした会へと形式を変更したものです。

当日は、環境省からの来賓挨拶、つづいて自治体、大学教授、NPOの方々などからリサイクルに関する多くの報告がなされました。また、農水省からの出席もあり、さまざまな情報交換



が行われました。「環の縁結び」というタイトルは、地域のリサイクル現場にいる方々と、牛乳パックの原料から製造・中身・回収や再生に携わる事業者や、国の機関、自治体とをつなげる意味が込められており、リサイクル推進の縁をつなぐ情報交流会になりました。



赤星たみこの Milk Break

紙パックをリサイクルして作られたトイレットペーパーは、真っ白で柔らかく、私は大好きです。再生紙は硬いと思いでいる人もいますが、そんなことはないんですよ。一度、バージンパルプのもの3種類、再生紙のものを3種類買ってきて自宅ですれがが一番柔らかいか実験したことがあります。バージンパルプでも柔らかさに差があるので、再生紙で一番柔らかいものは、バージンパルプの硬いものより断然柔らかかったです。

また、紙パックはパルプの木の色を漂白して白くしたパルプから出来ています。そういう色白の紙パックを集めて再生紙を作る時は塩素を使った漂白をしなくても大丈夫。色白美人にお化粧は

必要ない、ってところでしょうか。

再生紙が硬くて色が黒いというのは昔の話。今のリサイクルペーパーは高品質ですね！



■赤星たみこ：漫画家・エッセイスト。エコや家事に関する連載や著作多数。環境問題の講演会でも活躍中。

用語解説

識別マーク

識別マークは、「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成13年4月施行）」に基づいて指定表示製品と定められた容器包装に、「識別表示」をするために定められたマークです。「識別表示」の目的は、消費者の分別排出を容易にし、市町村の分別収集を促進することです。

識別表示義務の対象となっている容器包装は現在5品目あります。プラスチックや、紙、PETボトルなどが当てはまります。紙パックやダンボールは、識別表示の法的義務はありませんが、関係業界団体が自主的にマークを採用し、表示することにしています。

■さまざまな種類のマーク



日本紙パック 環境情報誌 NP-PAKism Vol.7 2007年12月発行

編集：日本紙パック株式会社 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2

TEL (03)6665-5555 (代表) FAX (03)3212-0605 e-mail npp-qa@nipponpaper-pak.co.jp URL http://www.nipponpaper-pak.com

本誌は日本製紙の再生紙「Pism Recycle 127.9kg/m²」を使用しています。
企画・制作：株式会社コア・アド・インターナショナル 本誌掲載内容の無断転載を禁じます。